

# IMPRESSION



アクセルを踏んだ瞬間から違いが分かるエキゾースト。燃費の改善率を確認するために、一般道や高速、峠道を含んだ約150kmの実走テストを必ず実施しているというガナドール。今回はカローラクロスハイブリッドを駆り出し、一般道と高速道路でインプレッション。ノーマルマフラーとPBS-Sを付け比べその差をチカラ付けた。

驚きだったのは、まさに走り出しの数メートルで違いが分かったこと。アクセルを軽く踏み込むだけで、クルマが力強く前に出る。試乗前はフィードバックの違いが分かるか不安もあったが、そんな懸念も吹っ飛んだ。モーターとエンジンの切り替えがスムーズなのもうれしい。そのあたりも考慮しながら車種ごとにチューニングしているとか。車速の上昇とともに心地良いマフラー音が耳に入ってくる。純正は静かゆえに不快なロードノイズが気になったが、PBS-Sは心地良いサウンドなので思わずアクセルを踏み込みたくなる。一般道、高速ともにその差は歴然。違うクルマに乗っているのではないかと思えるほど。マフラーチューニングの奥深さを実感した試乗となった。

## C-HR・PBS-S (GVS-031シリーズ)

■価格:13万7500円~15万9500円 ■適合:C-HRハイブリッド(ZYX系) ■テールエンド:ポリッシュ仕上げ/チタニウム製ブルー発色 ■仕様:左右4本出し(センターパイプ付き) ■テール径:85φサークル ■パイプ径:50φ



左右4本出しテールの採用により迫力のリアビューを演出するPBS-Sマフラー。テール内部に仕込まれた渦巻き状のスパイラルフィンにより、排気を効率よく放出する。高性能の要となるサイレンサーはグラスウールレス仕様。内部構造には、独自のテクノロジーが盛り込まれる。高品質な仕上がりが。

# 最新シリーズ第1弾は C-HR用をスタンバイ!



テール部バリエーションは2種を設定

### チタニウム製ブルー発色



テールカラーは2種類が用意される。チタニウム製ブルー発色タイプは、本物のチタン素材を採用した本格派。美しい焼き色も入っており、スポーティさを強調できる。

### ポリッシュ仕上げ



さりげなくドレスアップしたい人にぴったり。さらなポリッシュ仕上げも設定。テール内部には独自のスパイラルフィンのぞいており、ただならぬ雰囲気だ。

### 右ダブル出しモデルも設定!

## C-HR・PBS-S (GVS-030シリーズ)

■価格:8万2500円~9万3500円 ■適合:C-HRハイブリッド(ZYX系) ■テールエンド:ポリッシュ仕上げ/チタニウム製ブルー発色 ■仕様:右ダブル出し(センターパイプ付き) ■テール径:85φサークル ■パイプ径:50φ



シンプルに存在感を主張したいユーザー向けの、右ダブル出しモデルも設定。こちらも左右ダブル出しと同様にメイン50φ、テール85φを採用。パワー/トルクアップはもちろん、燃費改善も実感することが可能。

## 話題のSUVをはじめとした対応車種が続々デビュー!

### 新型カローラクロスもパワー&燃費性能がUP

[4本出しマフラー (GVS-055シリーズ)]



日常走行で多用する2000~3000rpmでのトルク差は実に約10kgf/m。低回転からトルクが立ち上がるので、どんなシチュエーションでも乗りやすさを実感できる。結果として、燃費改善率は15.9%に達している。

WEBでは音の試聴や最新情報を随時更新中!



### ハイブリッド&ガソリンに対応予定!



左右出しのテールエンドにはスパイラルフィンが組み込まれる。バンパー形状によりテールの突出量も最適化されているので、美しいシルエットに仕上がります。

## カローラクロス・PBS-S

■価格:13万7500円~15万9500円 ■適合:カローラクロス(ZVG系/ZSG系) ■テールエンド:ポリッシュ仕上げ/チタニウム製ブルー発色



中間パイプまで交換するフル交換タイプ。車種別に開発される角の取れた丸型サイレンサーは空気抵抗を低減する効果もある。細部まで独自のこだわりが満載だ。

## レヴォーグ・PBS-S

■価格:11万6600円~12万7600円 ■適合:レヴォーグ(VN系/VM系) ■テールエンド:ポリッシュ仕上げ/チタニウム製ブルー発色



レヴォーグ用には砲弾型サイレンサーを採用。シックなポリッシュテールと、スポーティなブルーテールを用意する。112φの大口径テールが、抜群の存在感を発揮してくれる。

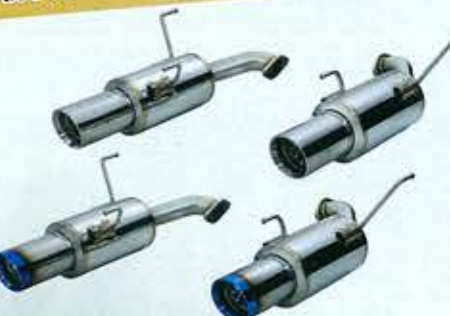
### リアビースタイルで高性能を発揮する!

[左右出しマフラー (VRS-052シリーズ)]



レヴォーグ2.0の場合、従来品でも8.3psアップとかなりの効果だが、PBS-Sでは13.2psアップを達成とさらに進化を遂げた。しかも燃費改善率は15.1%だ。

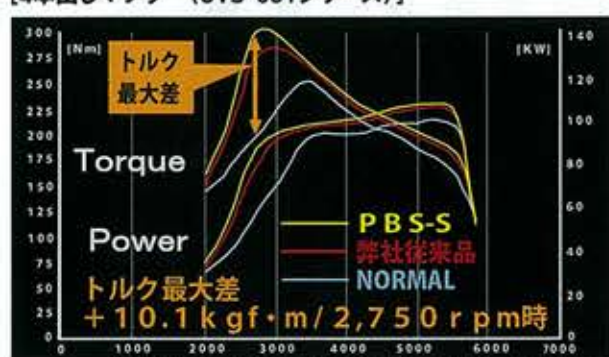
### 初代から新型2代目も新設定!



レヴォーグ用には砲弾型サイレンサーを採用。シックなポリッシュテールと、スポーティなブルーテールを用意する。112φの大口径テールが、抜群の存在感を発揮してくれる。

### パワー&トルクが向上 燃費改善率は15%以上!

[4本出しマフラー (GVS-031シリーズ)]



	走行距離(km)	給油量(L)	近接騒音(dB)	パワー(ps)	トルク(kgf·m)
ノーマルマフラー	151.9	7.57	74.0	136.5	26.1
ガナドール GVS-031シリーズ	151.9	6.52	84.0	146.5	31.2
ノーマル比	-	-	+10dB	+10.0	+5.1kgf·m

※近接騒音は2500rpmの測定値。

全域でパワー&トルクアップしており、ネガティブ要素は一切ない。特に注目したいのは、街中や高速での実用域である2500rpm前後のトルク差。純正マフラーの約2倍というから凄い。従来品よりもさらなるトルクの上乗せを果たしている。

### 純正カスタマイズ用エアロにも対応するラインアップ!

標準バンパー用はもちろん、ディーラーで購入可能な純正オプションエアロやGR専用バンパー、モデルスタやTRDなど、各エアロシリーズのバンパーに対応するPBS-Sもラインアップ中。

